



CHANGE for GOOD, Together.

どんな時代にも、みんなのGOODを増やしていく。

1926年、
イオンの前身である岡田屋は、
創業から168年という積み重ねの上に、
公平でひらかれた「公器」となるべく
株式会社となりました。

従業員に株を分配して、家業という形態を捨て、
新たな時代へと踏み出しました。

「お客さまを原点」に歩んだこの100年は、
戦禍をくぐりぬけ、経済の荒波をのりこえ、
社会の中でより良い会社のあり方を、
真摯に追い求めた道のりでもありました。

人々のお困りごとに目を向けて、
地域に、未来に、豊かさを生み出していくために、
利益を還元していく。

その実現のために、
自らの経営そのものが透明性高く、
鍛えられたものであることが必然でした。

世界基準のガバナンスを取り入れながら、
独自の経営思想の現れとなった3つの財団、
岡田文化財団、イオン環境財団、
イオン1%クラブを設置。

社外取締役が過半を占める
委員会等設置会社への移行など、
早い段階から革新を重ねてきたのも
そのためでした。

そして誰よりお客さまにこそ、
経営に参画いただきたいという思いのもと、
直に対話できる環境を広げながら、
今では100万人を超える「お客さま株主」に
会社は支えられています。

イオンが株式会社になって、100年。
わたしたちが向き合う
「平和・人間・地域」の課題には、
終わりはありません。
この永続する使命を、
時代をわたって果たしていく企業集団として、
これからも革新し続けてまいります。



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

世の中では、長期化する物価高、人手不足、気候変動
や地政学要因による原材料・エネルギー調達環境の不
安定化など、多くの社会課題が生活者の暮らしに深刻な
影響を与えています。生活に密着した事業を担う企業と
して、グループが有する多様な事業とスケールを活かし、
生活者が物価高やささまざまな格差を感じることなく、安
心して暮らせる社会づくりに貢献していきたいと考えて
います。それがお客さまからの支持につながり、結果とし
て、グループの収益力が高まり、社会課題の解決に貢献
できる幅が広がる。こういった考えのもと、中期経営計画
を推進してまいります。

家計において最も物価高の影響を受けている「食の
領域」では、良い商品を1円でも安く、お客さまに提供で
きるよう企業努力を追求していきます。お客さまの支持が
高まっているトップバリュのさらなる拡大や、高品質の総
菜を製造できるプロセスセンターの強化を進め、「お値
打ち価格の実現」と「企業収益の確保」の両立を目指し
てまいります。

あらゆる年代で需要が高まっている「健康の領域」では、
地方と都市との医療格差や、経済格差が深刻な課題と
なりつつあります。ソルハホールディングスが有する全国
5,600の店舗網、5万人の専門人材を活かすことで、住
んでいる地域に関係なく、誕生から老後まで、生涯にわ
たってお客さまの健康的な暮らしをサポートする企業へ
と成長を図ってまいります。

身体健康だけでなく、心の充足「ウェルネスの領域」
も重要です。例えば、推し活に代表されるような、好きなこ
と、楽しむことへの消費意欲は高まっています。イオンモ
ールをはじめとする、当社の持つ施設において、シネマや
アミューズメントといったエンターテインメントの機能を強化
し、「気軽に安心して楽しめる場・機会」を提供することで、
施設の魅力向上につなげていきたいと考えております。

MESSAGE

また、今後の成長投資として、国全体が高い成長を続
けているベトナム事業や、世の中でニーズが高まっている
オンラインマーケットに重点配分し、事業成長を加速して
まいります。

近年、気候変動の影響は暮らしの足元にまで及んで
います。イオンの商品やサービスをご利用いただくことが、
自然と環境に配慮した行動につながる、即ち事業活動
そのものが環境対応となることを目指しています。環境・
グリーン活動のトップランナーとなれるよう、今後も取り
組みを強化してまいります。

当社は本年、株式会社化100年の節目を迎えます。
1926年当時、25名の株主で構成された当社は、100万
人を超えるお客さま株主に支えられる企業へと成長しま
した。これからも、決して変わることはない「理念」のも
と、時代の変化を捉えた柔軟で革新的な経営を追求し、
地域とともに豊かな未来に向けて、さらなる挑戦を続け
てまいります。



イオン株式会社
取締役 代表執行役社長

吉田昭夫

イオンの 基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、
人間を尊重し、地域社会に貢献する。

イオンは、小売業が平和産業であり、
人間産業であり、地域産業であると信じ、
その使命を果たす企業集団として永続するために、
お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。

イオンの基本理念



イオンの基本理念の伝承文全文は下記サイトよりご確認ください
だけです。基本理念は12の言語で共有され、WEBサイトでは
日本語版、英語版、中国語版を公開しています。

<https://www.aeon.info/company/concept/>

イオングループが
実現したい未来

お客さまが「明るくなっていく社会」と
「自分らしい幸せ」を実感できることで
「心豊かに暮らし、笑顔が広がる」未来

イオングループ
未来ビジョン



一人ひとりの笑顔が咲く
未来の暮らしを創造する

大切にする姿勢と誓い

3つの姿勢

「想いをもって、自発的に行動する」
「学び続け、新たな価値を創造する」
「つながりを築き、育み、共創する」

1つの誓い

「真摯、誠実であり続ける」

イオングループ
未来ビジョン

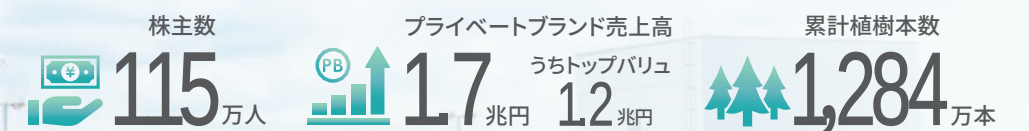


ゆるぎない理念のもと 革新と成長で広げる未来

創業以来大切に受け継いできた「イオンの基本理念」を礎に
革新を続け、事業活動を通じて未来ビジョンの実現へ邁進するイオン。
社会課題の解決と企業としての成長を結び付け、
地域になくてはならない存在を目指し続けます。

数字で見る
AEON

未来ビジョンの実現に向け、着実に成長を続けるイオン



※2026年2月末時点

暮らしのすべてを もっと豊かに。

暮らしを取り巻くさまざまな課題を解決し、
満ち足りたライフシーンをかなえる価値提供のために
幅広い事業領域でさまざまな取り組みを展開しています。



◀ イオンの事業

イオンの主な事業

GMS (総合スーパー) 事業

専門性の高い品揃えとサービスで、お客さまの衣食住をサポートする総合スーパーを展開しています。

スーパーマーケット事業

地域に密着したスーパーマーケット、小型店、コンビニエンスストアを展開。食品を中心に、毎日の暮らしに欠かせない商品の品揃えとサービスの充実を図っています。

ディスカウント事業

家計を応援し続けるために、商品仕入れの集約、物流の統合など、ローコスト施策を実施し、徹底的に低価格を追求する経営の実現に取り組んでいます。

ヘルス&ウェルネス事業

地域の皆さまの健康をサポートするドラッグストア・調剤薬局を展開。医薬品や健康食品、日用品など、品揃えの充実に加え、在宅調剤などのサービス拡充に取り組んでいます。

総合金融事業

日本およびアジア各国で、クレジットカード、銀行、保険、AEON Pay、電子マネー「WAON」など、小売業ならではの金融サービスを展開しています。

ディベロッパー事業

日本および中国・アセアン各国で地域と共生するショッピングモールを開発・運営。グループ各事業と連携しながら、サービスの提供や施設の充実を図っています。

サービス・専門店事業

毎日の生活を一層便利で快適にするサービスの提供と、お客さまの幅広いニーズに応える多彩なジャンルの専門店を展開しています。

国際事業

中国・アセアン各国において、国や地域ごとに異なるニーズやライフスタイルに合わせた商品・サービスを提供しています。

機能会社・その他

イオンのブランド「トップバリュ」での商品開発や品質管理、物流、システム、ITといったインフラ構築を担っています。

一つひとつの取り組みが 未来をひらく革新に

それぞれの事業の中でできることを最大限に追求するイオン。
その多くがお客様の暮らしに革新をもたらし、未来につながる価値を創出しています。

毎日を彩る食の 喜び・楽しさを提案

原材料や人件費の上昇を理由とした安易な値上げを行うことなく、プライベートブランドの開発・販売などにより、クオリティの高い「食」を手の届きやすい価格で提供。食べる喜びや楽しさを体感していただくよう努めています。



首都圏および近畿圏のスーパーマーケットを再編し、新鮮な発見、おいしさとの出会いを演出する「フードスタイル」を展開。



農産・水産売場で「じもの（地産）」コーナーの設置や「じもの日」といったイベントの開催により、新鮮な食材の地産地消を推進。

地域の健康課題に まっすぐ向き合う

ツルハホールディングスとウエルシアホールディングスが経営統合したことで、売上高2兆円超の国内最大のドラッグストアチェーンが誕生。全国に約5,600店を展開し、地域の健康課題に対応する体制を整えています。

日本最大の
ドラッグストア
チェーン誕生

TSURUHA
HOLDINGS

welcia

グループビジョンは「ドラッグストアから人生に寄り添うライフストアへ」。約5万人の専門人材が、人々の生活を生涯を通じてサポート。



映画だけでなくコンサートや演劇、スポーツのライブビューイングも行うイオンシネマ。全国の幅広い地域の人々を熱狂の中へ。

上質のエンターテインメントを創出。全国展開するショッピングモールだからこそ実現できる体験を価値と捉え、さまざまなコンテンツをあらゆるお客さまが気軽に安心して楽しめる場・機会の提供を進めています。

誰もが楽しめる機会を ショッピングモールにひろげる



デジタルの加速・進化で 新たな顧客体験を提供



全事業のデジタルを加速させ、お客さまの心へ届く顧客体験を追求。イオンのトータルアプリ「iAEON」の運用、店舗DXを通じた店舗運営の効率化とお買物体験の向上、ネット専用スーパー「Green Beans」をはじめとするEC事業の推進、センター内作業の無人化を図る物流の自動化などに力を注いでいます。



決済・ポイント・店舗情報を統合した「iAEON」は、グループ共通の顧客基盤。

次世代成長を担う

事業活動を展開

国境を越えて、 新たな成長領域を拡大

中国、アセアン各国で積極的な出店を継続的にを行い、国際事業をさらに加速。近年は、ベトナムを最重点国に位置づけ、小売およびディベロッパー事業を中心とした事業基盤の拡充を進めています。今後は、主要都市圏に加え、地方中核都市でのドミナント形成を通じ、グループの顧客基盤を活用したマルチフォーマットでの成長を加速していきます。

20,257店舗を展開 2026年2月末時点

日本 18,905	インドネシア 123	ミャンマー 10
中国 259	フィリピン 76	モンゴル 7
タイ 208	カンボジア 40	インド 3
ベトナム 302	シンガポール 11	ラオス 2
マレーシア 311		



イオンモール フェ

お客さまの声を起点に 暮らしに寄り添うお値打ち感を

生活者の実感を まっすぐ受け止めた商品づくり

お客さまが納得するお値打ち価格での提供

常にお客さまの声に耳を傾け、豊かな暮らしの実現に努め続けてきたイオン。それをカタチにしたのがイオンのブランド「トップバリュ」です。グループのインフラを活用した価格と価値の提供がお客さまから厚いご支持をいただいています。

イオンの
プライベートブランド
トップバリュ



さあ、ワクワク
するほうへ！

トップバリュ

暮らしがもっと楽しく、もっと
幸せになる、そんなワクワク
する独自価値を持った商品をお
届けするメインブランド



もっと安心、
もっとやさしく

トップバリュ
グリーンアイ

自然と体にやさしく、持続可能
な未来につながる商品づくり
を目指します



今日も明日も、
ほしいもの

トップバリュ
ベストプライス

一人ひとりの毎日の暮らしや
未来に寄り添う商品を、いつ
も手頃な価格でお届けします



『下げにもうけよ』で お買い得価格を 徹底追求

インフレや原料費の高騰が暮らしを圧迫するなか、「自分たちの声が反映された」と感じていただける店頭価格の実現に取り組むイオン。この源流は、当社の前身である岡田屋の家訓「下げにもうけよ、上げでもうけるな」にあります。1920年代の恐慌下、商品を安く仕入れ、求めやすい価格で大量に売り事業も拡大。その精神はトップバリュに受け継がれています。商品の開発から販売まで一貫して携わるイオンだからできることです。

1

少しでも生活応援
コツコツコスパ

輸送費も削減！
ギョギョーつと巻きました

3

原料からの
商品開発



カカオ豆を使わず、
主原料はひまわりの種。

ビスケットに使われているパーム油はRSPO
認証※2）を取得し、持続可能な社会に貢献。

4

安全・安心と
おいしさの追求



子どもたちがばくばく食べるお
いしさを求めて、保育園で働く
栄養士・保育士さんと開発。

毎日をワクワクにする、新しい価格と価値のバランス

1

新しい工夫により
ムダを省き低価格を実現

クオリティを保ちながら、コストを下げるために、さまざまな工夫を凝らしています。例えば、トイレットペーパーを3倍巻きにして積載効率を高め、輸送費を削減しました※3）。

3

自然現象に左右されない
おいしさの実現

世界中で愛されるチョコレート。森林伐採や気候変動によって生産量が減少し価格が上昇し続けるカカオ豆に替え、ひまわりの種を原料に「チョコか？」を開発しました。

2

持続可能な原材料を
積極的に使用

海の恵みを守る漁業・養殖業からの水産物や、自由に動きまわられる鶏舎でのびのび育てた鶏の卵を使用した商品などを積極的に開発しています。

4

家族の幸せな食事の
時間をお手伝い

忙しい毎日でも、食事時の笑顔は大切にしたい。お子さま向けのシリーズ「fun fun smile」のごはんとおやつは独自の厳しい安全基準で、「安全性」と「おいしさ」にこだわっています。

独自の理念と スケールメリットにより 価値を創出

国際社会の情勢や自然環境の急激な変化によって、暮らしの豊かさや安全・安心が損なわれることも少なくない。イオンは、独自の理念のもと、日本国内はもちろん海外でも事業を展開するスケールメリットを活かし、持続可能な調達、新たな原材料や調達先の開拓を通じた商品の企画、開発、環境負荷の軽減を意識した流通・販売、さらに資源循環などを推進することで、新たな価値の創造に力を注いでいます。

※1 MSC「海のエコラベル」/ASCラベル：水産資源の未来と環境保全に向けて、海の貴重な恵みを守る漁業・養殖業で生産された水産物であることを示すラベル。
※2 RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil) 持続可能なパーム油のための円卓会議 認証：パーム油の健全な生産と利用を支える国際的な取り組み。
※3 トップバリュベストプライス ふんわりリサイクルパルミックストイレットペーパーダブル (25m) との比較。

持続可能な未来を目指して

自然の恵みとともに生きる地域へ

全国各地の店舗に来店するお客さま、地域の皆さまとともにいるさまざまな環境保全活動が、大きな輪となっています。35周年を迎えた植樹活動「イオン ふるさとの森づくり」を基盤に、ネイチャーポジティブの実現に向けた取り組みを推進し、自然と共生する社会の実現に貢献していきます。



累計植樹本数
1,284万本



植樹活動



お客さまとともに大切な資源をリサイクル

貴重な資源を再利用するために、お客さまがイオン店舗の回収ボックスにお持ちになった使用済みペットボトルをリサイクルし、トップバリュ商品として再製品化する取り組みを進めています。



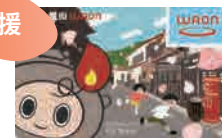
資源循環

お買物を通して地域とコミュニティを応援

毎月11日にお買物で受け取る「黄色いレシート」を、お客さまが応援したい団体のボックスに投函すると、レシート金額の1%相当の品物が贈呈される「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施しています。



地域応援



自治体と協働し地域の振興を支援

全国各地の地域行政と協定を締結し、防災・福祉・環境保全の推進のほか、ご利用金額の0.1%をイオンが寄付する「ご当地WAON」を活用した商業・観光の振興などを行っています。その「ご当地WAON」が、『電子マネーの寄付金プログラムで提携している自治体数の記録』『提携自治体数193』としてギネス世界記録®に認定されました。



里山プロジェクト



2026年4月、千葉県香取郡多古町と地域連携協定を締結し、(公財)イオン環境財団、(公財)イオンワンパーセントクラブとともに、里山の再生と地域価値の創出を推進。

木を植えること、それがサステナブルな社会への第一歩

新店舗のオープンに合わせて、お客さまとともに植樹を行う「イオン ふるさとの森づくり」。その土地ならではの木々を育てながら、「鎮守の森」のような豊かな環境づくりを目指しています。(公財)イオン環境財団は、自然災害や伐採などで荒れた森の再生を目指す植樹活動も行い、地域の自然環境を守る取り組みを続けています。

(公財)イオン環境財団は山形県南陽市にて森林火災「復興」植樹を実施。



次世代育成支援

地域の未来を担う青少年のために

小中学生を中心に全国のイオングループの店舗などを拠点に、環境や社会貢献をテーマに体験学習を行う「イオン チアーズクラブ」。実際に見て、触れて、考えることが、子どもたちの力になると信じ、その可能性を広げる活動を続けています。

公益財団法人 **イオン1%クラブ**



無形の資産を 守り伝えていく

三重県における文化の振興発展に力を注ぐ(公財)岡田文化財団。伝統工芸活動や芸術・文化活動への育成・援助、文化財の保存・修理などに対して助成を行っています。

公益財団法人 岡田文化財団



伝統・文化の振興

防災対策

施設・人の両面で万一の災害に備える

災害発生時に一時避難場所の提供や、営業継続、早期再開のための体制を整え、自家発電設備なども完備。日本で培った災害対応の知見は海外でも活かされ、2025年秋にベトナム中部の都市・フエで発生した記録的豪雨の中、イオンモール フエは地域の防災拠点として機能しました。また、お客さまとともにいる支援募金もグループ全体で行っています。



◀ イオンのサステナビリティ

持続可能な未来を目指して

人がいきいきと活躍する毎日を



グループ内の推進企業を表彰する
“ダイ満足”アワード。

従業員の幸せの実現

DE&I（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）の推進を経営戦略の一環とし、個を尊重し能力を活かすことで、誰もが活躍できる組織づくりを目指すイオン。常にお客さまのニーズに柔軟に対応できる、革新し続ける企業環境づくりを推進しています。

多様性推進の取り組み



ダイバーシティが生む従業員とその家族、お客さま、会社の満足を“ダイ満足”とし、グループ全体で推進活動を実施。



2025年3月、経済産業省と東京証券取引所が共同で主催する「Nextでこ 共働き・子育て支援企業」に選定。



経済産業省と日本健康会議が共同で行う認定制度「健康経営優良法人2026（ホワイト500）」に4年連続で認定。



人権に関する取り組み

人権を尊重した公正な事業活動の実践

全てのステークホルダーの皆さまの人権の尊重を、グローバルな事業活動において極めて重要な社会的責任として重視。人権デューデリジェンス委員会を設置し、各社の重点課題をイオン（株）がモニタリングするなど、人権を尊重する経営を実践しています。



「教育は最大の福祉」で人生を豊かに

イオンは企業内大学「イオンビジネススクール」を60年以上にわたり運営し、次世代の経営人材・専門人材の育成に取り組んでいます。また、従業員の意識変革とスキル習得を後押しする「イオンデジタルアカデミー」の取り組みを通じて、グループ内のデジタル人材の育成を推進。2026年には、デジタル人材育成の分野に貢献した企業などを表彰する「デジタル人材育成大賞」を小売業で初めて受賞しました。

人材育成



デジタル技術を活用した経営変革に取り組む体制が整備された企業を国が認定する「DX認定制度」において、2025年まで3期連続で認定を取得。

主なグループ企業

太字は株式公開会社

純粋持株会社

イオン（株）

GMS（総合スーパー）事業

イオン九州（株）
イオン北海道（株）
（株）キャンドウ
イオン東北（株）
イオンバイク（株）
イオンリカー（株）
イオンリテール（株）
イオン琉球（株）
オリジン東秀（株）
（株）サンデー
トップバリュコレクション（株）

スーパーマーケット事業

（株）フジ
マックスバリュ東海（株）
ミニストップ（株）
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス（株）
イオンサヴール（株）
（株）イオンフードスタイル
（株）いなげや
（株）カスミ
（株）ダイエー
ピオセボン・ジャポン（株）
まいばすけっと（株）
マックスバリュ北陸（株）
（株）マルエツ

ディスカウント事業

イオンビッグ（株）
（株）ビッグ・エー

ヘルス&ウエルネス事業

（株）ツルハホールディングス
（株）イオンボディ
イオンレーヴコスメ（株）
ウエルシアホールディングス（株）
ウエルシア薬局（株）
コスメーム（株）
（株）ツルハ

総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス（株）
AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.
AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD
AEON THANA SINSAP (THAILAND) PCL.
（株）イオン銀行
イオン保険サービス（株）
イオン・リートマネジメント（株）

ディベロッパー事業

イオンタウン（株）
イオンモール（株）
（株）OPA

サービス・専門店事業

（株）イオンファンタジー
（株）コックス
アビリティーズジャスコ（株）
（株）イオンイーハート
イオンエンターテイメント（株）
イオンカルチャー（株）
イオンコンパス（株）
イオンディライト（株）
イオンペット（株）
イオンライフ（株）
（株）ジフット
ブランシェス（株）
（株）プレステージシューズ
（株）未来屋書店
（株）メガスポーツ
メガベトロ（株）
リフォームスタジオ（株）
R.O.U（株）

国際事業

【中国】
AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited
AEON (CHINA) CO., LTD.
AEON EAST CHINA (SUZHOU) CO., LTD.
AEON (HUBEI) CO., LTD.
AEON South China Co., Limited
GUANGDONG AEON TEEM CO., LTD.
QINGDAO AEON DONGTAI CO., LTD.
【ASEAN】
AEON CO. (M) BHD.
AEON BIG (M) SDN. BHD.
AEON (CAMBODIA) Co., LTD.
AEON ORANGE COMPANY LIMITED
AEON (Thailand) CO., LTD.
AEON VIETNAM COMPANY LIMITED
DONG HUNG INTEGRATION DEVELOPMENT COMPANY LIMITED
PT.AEON INDONESIA

機能会社・その他

イオンアグリ創造（株）
イオングローバルSCM（株）
イオン商品調達（株）
イオンスマートテクノロジー（株）
イオントップバリュ（株）
イオンネクスト（株）
イオンフードサプライ（株）
イオンペーカリー（株）
コルドンヴェール（株）
（株）生活品質科学研究所
Tasmania Feedlot Pty. Ltd.

- （公財）イオン環境財団
- （公財）イオンワンパーセントクラブ
- （公財）岡田文化財団

2026年6月時点

※イオングループは、イオンおよび312社の連結子会社、21社の持分法適用関連会社により構成されています。（2026年2月末時点）

地球環境や伝統文化を守り、次の世代へ受け渡す



公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という想いのもと1990年に設立。イオングループの主要企業が税引前利益の1%相当額を拠出し、「青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域社会の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域として活動しています。



公益財団法人 イオン環境財団

日本初の地球環境問題に特化した民間企業単独の財団法人として、1990年に岡田卓也名誉会長相談役により設立。「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の事業を柱に活動し、人と自然が共生する持続可能な新しい関係性を構築するため、「新しい里山」づくりを目指しています。



公益財団法人 岡田文化財団

三重県の芸術文化の振興や伝統文化の育成・後援、文化財の保存・修理などを目的として、1979年に設立。「助成事業」「主催事業」「美術館事業」「奨学金事業」「さくらプロジェクト」を柱に活動を行っています。

HISTORY

イオン株式会社のあゆみ



1758

岡田屋創業

三重県四日市市で、初代岡田惣左衛門が綿織物や日用品を扱う小売商として創業。店を構えた久六町は人通りの多い立地ではなかったため、天秤棒を肩にした郷中への行商が中心でした。



1926

家業から企業へ 株式会社岡田屋呉服店 設立

六代目岡田惣一郎が資本金25万円で株式会社岡田屋呉服店を設立。株主数25名、うち従業員21名での新たな船出でした。



1969

ジャスコ株式会社誕生

「小売業の近代化」を目指し、岡田屋、フタギ、シロが均等出資した本部機構会社ジャスコ株式会社を設立しました。



1974

東京・大阪・名古屋 3市場に同時上場

ジャスコ株式会社が東京・大阪・名古屋の3証券取引所の第2部に同時上場。全国展開を視野に入れたうえでの上場でした。



1989

イオングループへ改称

ラテン語で「永遠」を意味するイオンにグループ名を改称。お客さまへの貢献を永遠の使命とし、革新への決意を新たにしました。



2008

純粋持株会社へ移行

イオンが本体で手がけていた総合小売事業などを子会社に承継し、純粋持株会社へ移行。グループ企業価値のさらなる向上を図りました。



2001

ジャスコからイオンへ 社名変更

21世紀の企業に生まれ、変わるという強い決意とともに、社名をジャスコからイオンに変更。同時に「夢のある未来」に向けて「イオン宣言」を発表しました。

2026

株式会社化 100年を迎える

イオンは、2026年9月に株式会社化から100年を迎えます。株式会社化100年は、お客さまとともに歩む企業姿勢を体現してきた軌跡です。これからも地域ごとのニーズに応え、コミュニティの発展に貢献しながら、株式会社として理想を掲げ続けてきた姿勢を礎に、次の100年に向けて「あるべき株式会社」を追求してまいります。



どんな時代にも、みんなのGOODを増やしていく。

CHANGE for GOOD, Together.